

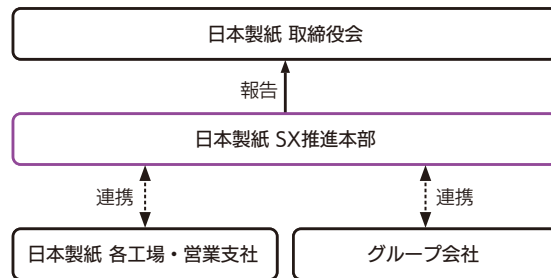
地域・社会との共生

1 基本的な方針

日本製紙グループは、社会の一員として社会全体の発展に貢献したいと考えています。必要とされる製品の供給を続けるとともに、地球環境の保護、文化や地域社会の発展にも役立つための活動を積み重ねていくことが、社会から信頼を得て、地域と共生しながら事業活動を続けていくことにつながります。

 [→P97](#) 社会貢献活動の理念と基本方針

2 推進体制



- 当社グループでは、グループの専門性や資源を活用しながら、それぞれの地域との共生を深める活動を継続して実施しています。
- デジタルサイネージや社内報などを通じて、活動の内容やその意義を社内に広く発信することで、社内理解と推進に努めています。
- 当社グループでは、地域の皆さまからのご意見をウェブサイト等で受け付けています。

3 主な地域・社会との共生活動、社会貢献活動

主な地域・社会との共生活動、社会貢献活動一覧

活動区分	活動内容
地域・社会に関する活動	
地域の美化・安全・防災・災害時支援活動	● 事業所周辺等の清掃活動 ● 子ども110番/パトロール事業への協力 ● 交通安全の意識喚起 ● 植林地域における消防団への参加* ● 自然災害時の義援金の拠出、救援物資の提供 ● 災害用備蓄品の地域との共用
地域文化の保全・先住民族への配慮	● 先住民族遺跡の保護* ● 先住民族の遺跡がある土地を恒久的な保護区に指定* ● 地域行事への参加・協賛・協力
福祉活動	● ピンクリボン運動を支援するコピー用紙の販売 ● 植林地周辺の農家への樹皮・バイオマス残渣を利用した堆肥の配布* ● 社会福祉団体のイベントへの参加・協賛 ● 乳がんネットワークへの支援* ● 災害用備蓄品の子ども食堂等への提供 ● 所有する福利厚生施設(体育館など)の一般(地域住民・各種団体・個人等)への開放
意識啓発の機会提供	● サステナビリティ講演会の開催 →P02
科学技術の振興	● (公財) 藤原科学財団への支援
環境に関する活動	
社有林の活用・生物多様性の保全	● 「シラネアオイを守る会」の活動支援 →P49 ● シマフクロウの生息地保全と事業の両立 →P49 ● 人工巣箱設置によるシマフクロウの繁殖条件改善 ● 西表島での外来植物の駆除活動 →P49
リサイクル活動の推進	● 紙コップ回収リサイクル →P43 ● 紙パック回収リサイクル →P43 ● 地域の廃棄物の有効利用 →P45
地域への責任	● 環境コミュニケーションの実施 →P27 ● 地域の水資源保護・改善を目指すプログラムへの参画* →P45
教育に関する活動	
ワークショップ・出張授業	● 「森と紙のなかよし学校」の開催 ● 出張授業、学校授業への協力
社会見学の機会の提供	● 工場見学の受け入れ
就業支援・教育現場への製品提供	● インターンシップの受け入れ ● 植林地周辺コミュニティの住民を対象とした職業訓練の実施* ● 教育機関への自社製品提供
音楽・スポーツを通じた教育機会の提供	● 音楽コンクール・スポーツイベントへの協賛 ● 低所得層の子どもたちを対象にした教育プロジェクトの支援* ● 社会人野球チームによる野球教室の開催 ● 実業団テニス部によるテニス教室の開催

※ 海外での活動

地域・社会との共生

事例

社会福祉団体主催のイベントへの参加・協賛

当社や日本紙通商などでは、社内で回収したペットボトル飲料のキャップを社内で収集し、NPO法人等に寄付しています。寄付したキャップは売却された後、収益がワクチンに換えられ、世界の子どもたちに提供されています。また、国内のグループ会社の多くの拠点にて日本赤十字社の献血に協力しています。

福知山マラソンのコース周辺の仮設トイレ等に自社商品を提供(日本製紙クレシア)

日本製紙クレシアは、1999年第9回大会より、毎年11月23日に実施されている福知山マラソンに協力をしています。マラソンコース周辺に設置されている100基を超える仮設トイレ等にトイレットロール・ティッシュを提供しています。また、日本製紙クレシアのブース(テント)では、製品展示やクイズ等も実施し、景品提供も行っています。

石巻硬式野球部による地域貢献活動(日本製紙)

日本製紙石巻硬式野球部は、社会人野球チームとして試合に出場する傍ら、地元や遠征先の青少年を対象とした野球教室を開催するなど、スポーツを通じた交流を継続して行っています。

また、工場周辺の清掃活動のほか、近隣小学校の門前に立ち、登校する児童たちの安全を見守りながらあいさつを呼びかけることで、地域の美化や安全、心の豊かさを育むための活動も行っています。

災害用備蓄品の共用(日本製紙)

白老工場では、津波などの災害発生時に備え、地域住民と共用するための備蓄品(発電機や防寒グッズ、食糧など)を緊急避難先に納入しています。備蓄品は工場と地域の町内会が協力しながら日常的に管理することで、地域における防災意識の向上にも貢献しています。

「森と紙のなかよし学校」の開催(日本製紙)

「森と紙のなかよし学校」は日本製紙の社有林を活用した自然環境教室です。一般の親子を対象に、生活に身近な存在である紙と自然とのつながりを体験する機会を提供しています。当社およびグループ社員が講師・スタッフとなり、群馬県や熊本県にある社有林にて10年を超える開催の実績があります。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2022年度はウェブ参加型の「森と紙のなかよし学校オンライン」を開催しました。

2023年度は、熊本県の豊野社有林での開催を4年ぶりに再開しました。さらに、ウェブ開催の経験から、地域と連携した自己学習型プログラムの提供が重要との考えに立ち、新たな取り組みとして、NPO法人樽前arty+、苫小牧市美術館の協力のもと、「森と紙のなかよし学校in白老」を白老工場で開催しました。2024年度も引き続き、豊野と白老の両地域にて開催しました。

地域・社会との共生

事例

自社の包装・デザイン技術を活用した地域コミュニティへの貢献 (Opal社)

Opal社 (オーストラリア) は、オーストラリアの乳がん患者支援団体 Breast Cancer Network Australia (BCNA) と連携し、BCNA が参加するイベントに段ボール製の人形やトリビュートボックスなどを提供し、乳がん患者やその家族、遺族への支援を呼びかける活動を長年にわたり継続しています。

また、ニュージーランドでは、顧客と協働し、地元の小学校などにキウイフルーツを配達する取り組みを続けております。Opal社は配達箱のデザインおよび提供もっており、この取り組みを通じて、食品ロスの削減と小学生の健康維持の両立に貢献しています。

スポーツ活動を通じた女性活躍支援 (Opal社)

Opal社 (オーストラリア) はスポーツにおける女性の活躍支援の一環として、セントキルダ・フットボール・クラブの女子オーストラリアン・フットボールリーグチームの創設時からのスポンサーとなっております。セントキルダと協働して、スポーツパフォーマンスやダイバーシティ、女性のリーダーシップなどを扱った、さまざまな女性活躍支援の取り組みを行っています。

2023年には女子小学生を対象としたフットボールイベント Opal Little Saints Cup を開催し、100人以上が参加しました。

AMCEL社 (ブラジル) では、自社の専門性を活かしながら地域社会との共生を深めるために、さまざまな取り組みを行っています。

先住民族の遺跡がある土地を恒久的な保護区に指定 (AMCEL社)

AMCEL社は現在、Tartarugalzinho市に、2013年8月から2014年1月に実施された調査によって発見されたペトログリフ (幾何学的な岩の彫刻) 遺跡を所有しています。同社はその全域を永久保護区に指定し、地域行政と連携して、遺跡を保全するための継続的な監視を行っています。

植林地周辺の農家への樹皮・バイオマス残渣を利用した堆肥の配布 (AMCEL社)

AMCEL社は、植林・林業活動の中で発生した樹皮などのバイオマス残渣からできた堆肥を、植林地周辺に住む地元農家へ無償で配布しています。この活動は地域社会の農業振興につながり、各農家からも作物の有機栽培につながると好意的な評価を得ています。また未利用であったバイオマス残渣の有効利用にもつながっています。

植林地周辺コミュニティの住民を対象とした職業訓練の実施 (AMCEL社)

AMCEL社は、植林地を含む広大な土地を所有し、地域住民との関係を深めるための社会活動に努めています。その一環として、地域の人々が就職のために学びたいことを聞き取り、それらに沿ったテーマのセミナーを継続的に開催しています。また、2023年より農家を対象とした独自の社会プロジェクト「Between Cultures and Agricultures」を実施しています。農業生態学に特化した技術支援を通じて、持続可能な経営の促進や、地域社会の収入創出と生活水準の向上に貢献しています。2024年には対象コミュニティを拡大しました。

低所得層の子どもたちを対象にした教育プロジェクトを支援 (AMCEL社)

AMCEL社は、地域の子どもたちへのスポーツ実践や環境教育を推進する、政府およびNGOの外部プロジェクトを支援しています。このプロジェクトは、低所得層の子どもたちの健全な発育や、犯罪や薬物使用に巻き込まれないようにすることを目的としています。同社は、活動に必要な物品や生徒が着用するユニフォームを提供し、この取り組みに対する支援を続けています。

社会貢献活動費 (日本製紙)

	2022年度	2023年度	2024年度
社会貢献活動費 (寄付金額) (百万円)	49	62	72

4 従業員の社会貢献活動支援

当社では、従業員の自主的なボランティア活動への参加を以下の制度で支援しています。

- ボランティア休職制度 (青年海外協力隊など)
- ボランティア活動目的での休暇取得制度 (失効積立年休 (保存休暇) の利用)